

鸛鵲樓に登る（王之渙）

白日 山に 依つて 尽き

黄河 海に 入つて 流る

千里の 目を 窮めんと 欲し

更に 上る 一層の 楼

白日依自盡 黄河人海流  
欲窮千里目 更上一层楼

解説 黄河を目の下に望む鸛鵲樓に上つて、雄大な景色をうたった詩。

語釈 ※鸛鵲樓Ⅱ山内省永濟県の西南の城郭に立つ三層樓。鸛鵲（このとり）がここに巢を作ったことから名づけられたという。※白日Ⅱ太陽。※依山尽Ⅱ山なみに沿いながら沈んでゆく。※黄河Ⅱ長江と並ぶ中国の二大河川の一。※人海流Ⅱこの楼から海は見えないが、黄河の勢いが豊かに流れるさまのことを形容した。※千里目Ⅱ千里四方を見わたす眺望。

※一層樓Ⅱ楼の一階上。層は階のこと。

通釈 この鸛鵲樓から眺めると、いましも日は赤々と、黒い山なみの向こうに沈み、目の下には豊かに流れる黄河が、海に注ぐ勢いで流れている。この雄大な眺望をさらに遠く千里の向こうまでもきわめようと、もう一階上に上った。